

第6学年 算数科学習指導案

単元名	図形の拡大と縮小
単元の目標	図形の拡大・縮小について、図形を観察する活動を通して拡大・縮小の意味を理解し、拡大図・縮図の性質や作図の仕方を考えたり、縮図を用いて距離を調べたりすることを通して、平面図形についての理解を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。

1 本時の目標

縮図を利用して、直接測定できない2点間の距離を求めることを通して、距離の求め方を考えたり、説明したりすることができるようにする。

2 本時（9／10）の学習過程

主な学習活動・学習内容	指導上の留意点（◎主体的な学びに向かうための手立て ★評価）
1 前時の学習を振り返る。 ・拡大図や縮図の利用 2 問題を確認し、めあてを確認する。 ・縮図 ・縮尺	・前時の振り返りで「つなげる」に地図のことを書いた児童を紹介し、学習問題に向かわせる。 ◎向陽小から深川中までの地図を見せ、実際にどのくらいの距離があるか考えることで、日常生活と関わりがあることを伝え、意欲喚起する。
縮図を利用して、直接測れない2点間の直線きよりの求め方を説明しよう。	
3 問題を解いて、説明し合う。 （グループ→個→全体→ペア） ・長さ、測定 ・直線距離 ・単位の換算 ・筋道立てた説明 4 実際の直線距離の求め方をまとめる。 地図上で長さをはかり、 倍する。さらに、単位を分かりやすいように換える。	◎一人学びの前にグループで話し合い、ポイントを整理しながら見通しをもたせ、自力解決ができるようにする。 ・説明する際に使える言葉（みかたワード）を提示したり持たせたりして、自信をもって説明できるようにする。（★②） ・ペアで説明する際自分でできるよう、みかたカードを使ってナンバリングしながら、全体で説明を整理する。 ・ナンバリングした説明を参考に児童と対話しながらまとめる。
5 向陽小から深川中までの直線距離を求める。 ・長さ、測定、直線距離、単位の換算 6 振り返りをする。	◎じっくり取り組みたい児童ともっと学びたい児童の活動時間の差を埋めるため、早目に問題が解けた児童は、自分の家から深川中までの直線距離を求めるようにする。（★①） ・実生活に活用できることを感じさせるため、直線距離ではなく、実際の道のりを求めることもできることを伝える。 ・振り返りの視点「つなげる」について振り返っている児童がいれば、紹介する。

3 評価（★）

- ①縮図を利用した2点間の直線距離の求め方を理解し、実際の距離を求めることができる。（知）
- ②縮図を利用して、実際の直線距離の求め方を考えたり、説明したりしている。（思）